

としょかん つうしん

8月号

8月号は「おばけ」です。ひやーりぞくぞくおばけの本。夏になるとなぜかみんなこわい本が読みたくなりますね。図書館では「おばけ」の本が大人気。でも、おばけがみんなこわいなんてウソ。かわいいおばけやこわがりやおばけ、やさしいおばけもいるんです。



「おばけのバーバパパ」

年少向け

アネット＝チゾンさく タラス＝テイラーさく
偕成社

バーバパパは庭の土の中から生まれたおばけです。大きすぎてうちに入れません。動物園に行ったけれど、園長先生に動物園を追いだされてしまいます。でも体のかたちを自在に変えられるバーバパパは火事で人々を助けたり、逃げ出したヒョウをつかまえたりと大活躍。バーバパパは街の人気者になりました。



「めっきらもっきらどおんどん」

年中向け

長谷川摂子作 ふりやなな画
福音館書店

かんたは遊ぶ仲間をさがしてお社までやってきましたが誰もいません。しゃくにさわったかんたは大声でめちゃくちゃの歌を歌いました。すると木の根元の穴から大声が聞こえ、かんたがのぞき込んだ途端、穴の中に吸い込まれてしまいました。そしてへんてこりんな三人の妖怪に出会います。



「おばけのジョージ」

年長向け

ロバート・ブライトさく・え 光吉夏弥やく
福音館書店

屋根裏に住むおばけのジョージは役に立つのが大好き。毎晩、床や階段を「みしり」ドアを「ぎー」と言わせて家のご主人に寝る時間を知らせます。ところがある日、ご主人は床のくぎを打ちなおし、ドアのねじもしっかりとしめ物音ひとつしない家に。役にたたなくなってしまったジョージは家を出て、ほかに家を探すのですが・・・。